

効果2

企業立地を促進し、雇用や投資が増加

- 埼玉県では、圏央道沿線地域の新規立地が10年で462件となり、新規雇用が増えるなど、民需拡大・地域経済の好循環につながっています。
- 今回の開通により、配送体制の効率化など、企業の活性化に寄与。

県北地域

986人  
5,261人  
30件  
161件

県北地域

平成22年3月  
平成23年5月  
平成27年3月

今回開通区間

図央道沿線地域

平成20年3月  
平成8年3月

県南地域

830人  
4,262人  
21件  
177件

県南地域

平成17年度  
平成26年度

新規雇用

立地件数

凡例

開通年月

効果3

新たな広域ネットワークが形成され観光交流の活性化が期待

- 観光地へのアクセスが向上し、湘南・鎌倉周辺がより身近になります。
- 圏央道の開通により、久喜白岡JCTから茅ヶ崎海岸までの所要時間が、約140分から約85分に短縮します。(約55分短縮)
- 都心の渋滞を回避でき、定時性も向上します。

開通後ルート

約85分

約55分短縮

湘南・鎌倉周辺

※都心経由ルート：H22センサス(混雑時旅行速度)による最短時間ルートの所要時間、圏央道、新湘南バイパスは制限速度(80km/h)

圏央道開通後ルート：圏央道、新湘南バイパスの供用区間は規制速度(80km/h)、圏央道の今回開通区間は設計速度(100km/h)による所要時間

事業の経緯

昭和60年度  
昭和61年 3月28日  
平成元年度  
平成元年 8月 8日  
平成 2年11月 1日  
平成 3年10月 1日  
平成 5年 4月 1日

都県境～関越道間が事業化  
都県境～国道254号の都市計画決定  
関越道～国道254号間が事業化  
基本計画決定・整備計画決定  
(都県境～国道254号)  
基本計画決定  
(国道254号～埼玉・茨城県境)  
圏央鶴ヶ島ICの都市計画決定  
国道468号に路線決定

平成6年度  
平成 8年 3月26日  
平成 8年 4月 5日  
平成 9年 2月 5日  
平成10年 4月 7日  
平成20年 3月29日  
平成22年 3月28日  
平成23年 5月29日  
平成27年 3月29日  
平成27年10月31日

国道254号～埼玉・茨城県境が事業化  
青梅IC～鶴ヶ島JCTが開通  
国道254号～埼玉・茨城県境の都市計画決定  
整備計画決定(国道254号～埼玉・茨城県境)  
坂戸ICの都市計画決定  
鶴ヶ島JCT～川島ICが開通  
川島IC～桶川北本ICが開通  
白岡菫蒲IC～久喜白岡JCTが開通  
久喜白岡JCT～境古河ICが開通  
桶川北本IC～白岡菫蒲ICが開通

開通予定

久喜白岡JCT  
白岡菫蒲IC  
平成27年3月29日開通

境古河IC  
平成27年3月29日開通

つくば中央IC

桶川北本IC  
平成27年10月31日開通

図央道

茨城県

常磐道

埼玉県

東北道

外環道

千葉県

東関東道

成田空港

京葉道路

松尾横芝IC

神崎IC  
平成27年6月7日開通

大栄JCT

中央環状線

3号渋谷線(大井JCT)

平成27年3月7日開通

湾岸線(大井JCT)

館山道

アクアライン

羽田空港

第三京浜

東京都

中央道

神奈川県

湘南海岸

※1  
平成32年度

藤沢IC

寒川北IC

海老名JCT  
平成27年3月8日開通

相模原IC  
平成27年3月29日開通

釜利谷JCT

※1の区間の開通時期については土地収用法に基づく手続きによる用地取得が速やかに完了する場合

※境古河IC～つくば中央ICの区間の開通時期については検討が必要

※開通予定は、平成27年9月29日時点です。

国土交通省関東地方整備局  
大宮国道事務所

〒331-9649  
埼玉県さいたま市北区吉野町1丁目435番  
TEL.048(669)1205 計画課

http://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya/02sigoto/468/

国土交通省関東地方整備局  
北首都国道事務所

〒340-0044  
埼玉県草加市花栗3丁目24番15号  
TEL.048(941)6002 計画課

http://www.ktr.mlit.go.jp/kitasyuto/kitasyuto\_index005.html

東日本高速道路株式会社 関東支社  
さいたま工事事務所

〒339-8502  
埼玉県さいたま市若槻区加倉260番  
TEL.048(749)9620(代)

2015.10  
再生紙と大豆油を配合したインキで印刷しています

明日へのネットワーク

国道468号  
首都圏中央連絡自動車道

至桶川加納IC

上尾道路

至川島IC

桶川北本ICに付近から久喜方面を望む  
(平成27年8月撮影)

圏央道とは

都心から半径およそ40km～60kmの位置に計画された延長約300kmの高規格幹線道路であり、首都圏3環状道路の一番外側に位置する環状道路です。この圏央道は、首都圏の道路交通の円滑化、環境改善、沿線都市間の連絡強化、地域づくり支援、災害時の代替路としての機能など多くの役割を担っており、これまでに約240kmが開通しています。

埼玉県の計画延長は58.4kmであり、平成27年10月31日の桶川北本IC～白岡菫蒲IC間10.8kmの開通により全線開通となりました。

効果1

日本の大動脈が直結、日本経済を支援

- 日本の経済活動の根幹を担う大動脈である東名高速・中央道・関越道・東北道が直結し、新たなネットワークが形成され、日本経済の循環を支えます。
- 関西・中部方面～東北方面間の輸送は、混雑する東京都心を通過せずに圏央道経由のルートが選択できるようになり、輸送時間の短縮が期待されます。

関西・中部方面と東北方面から  
関東圏を通過する地域間物流  
約4,800万トン/年

営業用普通貨物車の平均  
積載量(4.7トン)で換算すると  
約4万台/日

出典:H24貨物・旅客地域流動調査の府県間流動(府県内々除く)等により算出。

今回開通区間

東北方面

関東方面

関西・中部方面

圏央道開通後ルート

都心経由ルート

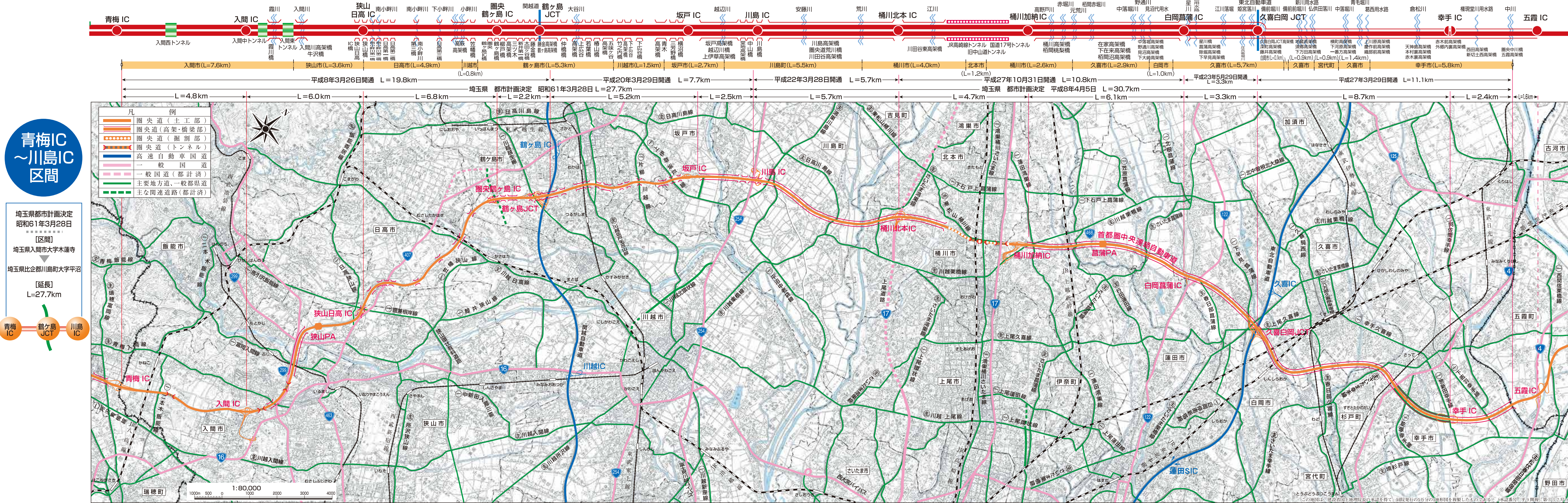
整備前  
都心経由  
130分

整備後  
圏央道開通後  
75分

約55分短縮

※都心経由ルート：H22センサス(混雑時平均旅行速度)による所要時間  
圏央道開通後ルート：圏央道の供用区間は規制速度(80km/h)、圏央道の今回開通区間は設計速度(100km/h)による所要時間

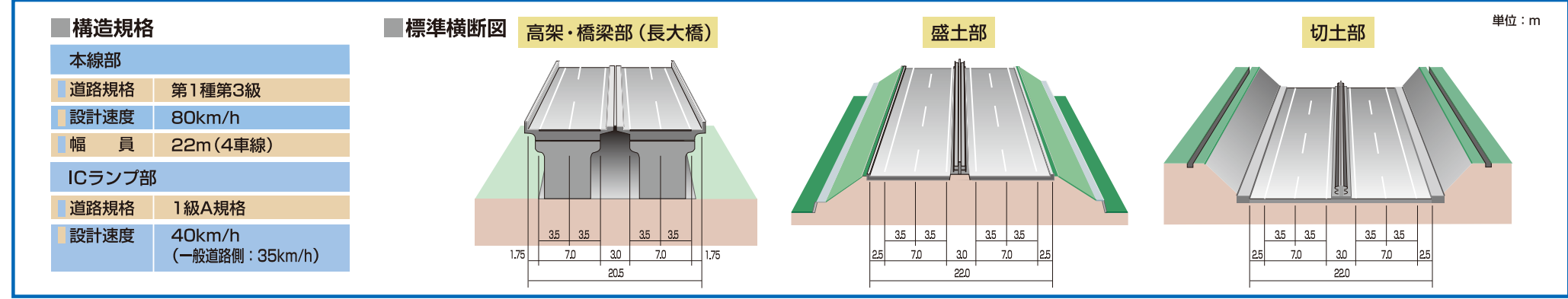




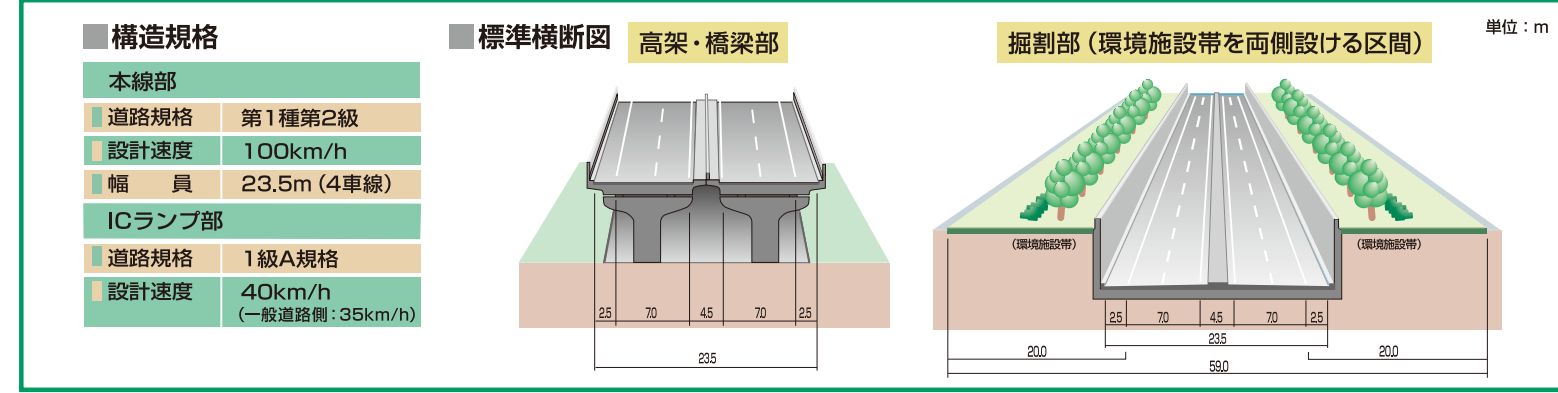
### 青梅IC ～川島IC 区間

埼玉県都市計画決定  
昭和61年3月28日  
[区間]  
埼玉県入間市大字木蓮寺  
埼玉県比企郡川島町大字平沼  
[延長]  
L=27.7km

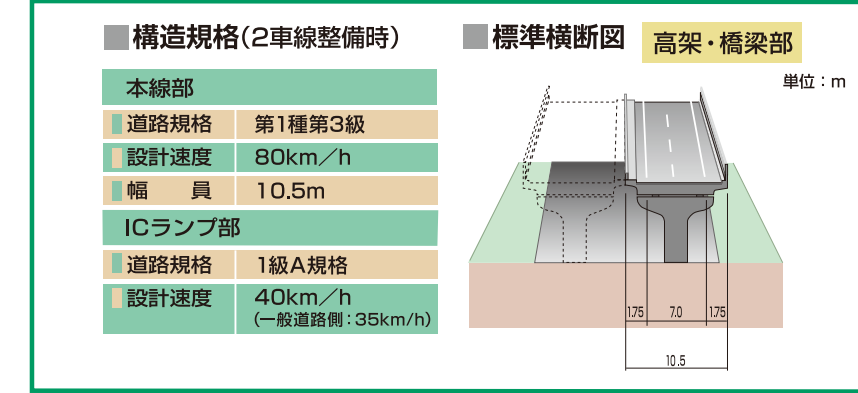
### 青梅IC～川島IC区間



### 川島IC～久喜白岡JCT区間



### 久喜白岡JCT～埼玉・茨城県境区間



### 川島IC ～埼玉・茨城 県境区間

埼玉県都市計画決定  
平成8年4月5日  
[区間]  
埼玉県比企郡川島町大字平沼  
埼玉県幸手市大字木立  
[延長]  
L=30.7km

### 状況写真 平成27年8月撮影

